

HEADLINE

講演はテレビ番組などでお馴染みの順天堂大学大学院加齢制御医学講座准教授である青木晃先生からスタート。アンチエイジング（老化防止）に基づいた病気予防についてのお話でした。

次に馬場記念病院副院長・脳神経外科部長の魏秀復が、最先端の治療はどのように行うのかについて、実際の写真を用いて具体的な説明を。

講演の後は ディスカッションで 意見交換を実施

これまでペガサスは情報誌「つばさ」や院内セミナーなどを通じて医療に関するさまざまな情報を提供してまいりましたが、今回は地域の皆さまと一緒に参加していただくという試みです。当日は開場1時間前から来場者が集まり、皆さまの健康に関する意識の高さを感じました。

地域の方々の健康に 対する 意識の高さを痛感

10月25日土曜日、ウエステイにおいて、ペガサス主催による「市民公開講座」を開講しました。

Report *1

市民公開講座「脳卒中を語る」開催。多くの方々がご集まりくださいました。



三番手の和歌山県立医科大学リハビリテーション医学教授の田島文博先生からは、早期リハビリテーションの重要性について。なかでも『立つこと・歩くこと』の大切さを訴えられていました。

最後の社会医療研究所長の岡田玲一郎先生は患者の立場から「自分の最期は自分で決める」この意味・意義について、大変興味深いお話でした。

講演後にはパネルディスカッションの時間も設けられ、充実したセミナーとなりました。

健康は私たち病院だけでなく、皆さま自らの意識によっても作り出されます。今後もこうして皆さまと一緒に健康を考える機会を作っていければと考えています。

Report *2

今年7月より、パワーアップしたMRIを導入！閉所が苦手な患者さまにも好評です。

ドームが短く 開口部も広く



予約待ち日数の 短縮に向けて

馬場記念病院では、この7月よりMRIを1台入れ替えました。これまで2台設置されていたのですが、使用年数の経過と検査件数の増加に伴い、実施したものです。

MRIは磁力と微弱な電波を用いて、体の軟部組織をキレイに撮影できる機械です。特に脳梗塞や脳腫瘍など、脳の精密検査時には大変役に立ちます。

MRIというと、細長いドーム型で検査時間も長く、閉所が苦手な患者さまにとっては大変な苦痛だったのではないのでしょうか。しかし、馬場記念病院の新しいMRIは通常よりドーム部分が短く、加えて、患者さまが入る開口部は広がりました。また、機種がパワーアップしたため検査時間が短くなりましたので、患者さまの負担も軽減されるのではないのでしょうか。

新しいMRIで検査時間が短くなったことにより、救急患者さまの検査もこれまでよりスムーズに対応できるようになりました。

今後の目標は、予約の待ち日数をもっと短くすることです。どの患者さまも、体の不調を訴えて来院されていますので、その場ですぐに検査をさせていただくのが一番望ましいと考えています。その実現に向けて、この新しいMRIは、大きな一歩だと考えています。

臨床放射線部 副主任 加藤武志

医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成20年12月1日現在

	診療時間	診療科		月	火	水	木	金	土
馬場記念病院	午前診 9:00～ 受付 8:30～12:00	内科 循環器科	1診	平山道彦 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	周藤弥生 (糖尿病)	坂本常守 (循環器)	田口晴之／島田健永 第1・3・5週／第2・4週 (ともに循環器)
			2診		宇治正人 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	児玉豊城 (呼吸器)		若山公作 (呼吸器)
		外科 消化器科	外・消1診	寺岡 均	新田敦範	玉森 豊	寺岡 均	新田敦範	山添定明 第1・3週
			外・消2診	原 順一	渋谷雅常	真下勝行	玉森 豊	堀田 潔	大平雅一 第2・4・5週
			外・消3診		河内屋友宏		原 順一		
		脳神経 外科	脳外科1診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			脳外科2診	伊野波 諭	馬場武彦	伊野波 諭	長岡慎太郎	伊飼美明	
			脳外科3診	藤本基秋	甲斐康稔	藤本基秋	前田一史	甲斐康稔	
			脳外科4診	前田一史					
		(脳)神経 内科	(脳)神経内科1診	高橋光雄	北口正孝	峯田春之	北口正孝	平賀定一	交替制
			(脳)神経内科2診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進／原 秀憲 第1・3週/第2・4・5週	長谷川隆典	
		整形外科	整形外科1診	本田良宣	山本 研	楊 裕健	吉田 映	楊 裕健	交替制
	整形外科2診		篠塚宗徹	山北真也	篠塚宗徹	山本 研	山北真也	交替制	
	整形外科3診			吉田 映	岡垣健太郎	岡田充弘	三木慎也		
	形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英/矢野 基 交替制	
	午後診 14:00～ 受付 13:00～15:00 □□□□ は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。	内科			北田拓也 (肝臓病)	瓦林孝彦 (心臓)			
			濱田千雅 (糖尿病)		玉垣芳則 (在宅酸素)				
		(脳)神経内科		北口正孝		北口正孝			
					南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)				
整形外科			岡垣健太郎 (関節の外来)	岡垣健太郎 (関節の外来)					
泌尿器科			松本成史		花井 禎(予約検査) 梅川 徹(診察のみ)	堀川重樹			
馬場病院	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	内科	中林孝之	久保俊彰	中林孝之	中林孝之	久保俊彰	中林孝之	
		外科	担当医	本田良宣 ＜整形外科＞	久保俊彰＜外科＞ 担当医＜外科＞	山本喜英 ＜外科＞	北口正孝 ＜(脳)神経内科＞	中林孝之 ＜内科外来にて＞	
	午後診 15:00～18:00 受付14:30～18:00	内科／外科 ＜内科外来にて＞	中林孝之 ＜内科＞	久保俊彰 ＜内科＞	久保俊彰 ＜内科＞	中林孝之 ＜内科＞	久保俊彰 ＜内科＞		
ペガサスクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 第1・3・5週 矢野 基 第2・4週	
		2診	宇治義正	戸田千綾	宇治義正	宇治義正	宇治義正	岡本隆司 第1・3週 田中秀典 第2・4・5週	
		3診		担当医					
	夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00	1診	永田安德	宇治義正	宇治義正	宇治義正	担当医		
		2診	担当医	矢野 基	担当医	担当医	永田安德		

馬場病院からの

お知らせ

昨

年12月から副院長の久保医師による『漢方外来』がスタートしています。副院長自身、アレルギー性鼻炎で悩んでいたときに漢方に出会い、助けられたことがきっかけでスタートしました。たとえば、目まいやフラつきなど、検査をしても異常がなく、命に関わらない患者さまの場合、自覚症状はあるのに「このまましばらく様子を見ましょう」と、現代医療の狭間に落ち込んでしまうことも少なくありません。こうした患者さまにも、遙か昔、検査のない時代に出来た漢方が、少しでも救いの手を差し伸べられればと思います。通常の診療時間内に診察を行っていますので、ぜひお気軽にご相談ください。



楽しみながら学べます。

英会話教室を開講しました！

ペガサスグループの株式会社ユニコでは、3～5歳のお子さんと保護者の方が一緒に楽しく学ぶことができる、「親子の英会話教室」を開講しています。もちろん小学生や一般の方も参加OK。ペガサスの職員も参加し、病院と地域の方を結ぶコミュニケーションの場としても活用されています。講師は、ニュージーランド生まれで、NOVAでの講師経験もあるMr.コリン。ワイルドなヒゲが特徴の、とても親しみやすい笑顔のステキな先生です。ネイティブスピーカーによる生きた英語を学ぶことができ、楽しい時間を過ごすことができるペガサスの英会話教室に、あなたもぜひ参加してみませんか？

教室場所：ユニコビル

曜日時間：月曜日～金曜日（祝日除く）

M) 10：50～11：30 B) 14：30～15：10

C) 15：30～16：10 D) 16：30～17：20

※受講希望状況により時間を変更する場合があります。

定員：各クラス8名（8組）程度

受講料：幼児＋保護者 ￥525／1単位40分

小学生 ￥630／1単位50分

一般 ￥1,050／1単位60分

お問い合わせ・お申し込み先 株式会社ユニコ TEL 072-263-3001

12月のペガサスセミナーは、

血液検査について！！

何のために採血するのか、採血によってどんなことが分かるのか。

採血によって分かる検査の説明と、関連する病気について、馬場記念病院の臨床検査技師よりお話しさせていただきます。

日時：12月17日 午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階ロビー

（地域医療支援室）

HOT NEWS

ペガサスケアプランセンターからのホットニュース

ペガサスケアプランセンター忠岡と和泉の2事業所が「特定事業所加算」を取得しました。

今年2月のペガサスケアプランセンターに続き、8月よりペガサスケアプランセンター忠岡、和泉の2事業所が「特定事業所加算」を取得しました。「特定事業所」とは、平成18年度に新しくできた制度で、中重度者（要介護度3、4、5）の方や支援困難な状況にある方を積極的に受け入れ、経験豊富で高い能力を有する主任介護支援専門員の管理監督の下、専門性の高い人材を確保し、質の高いケアマネジメントを実施する事業所のことです。私たちの仕事は、地域包括支援センター等との連携を密にし、支援困難ケースの支援を行うなど、その方々の生きていく力を引き出し、その人らしい自立した生活が送れるようお手伝いすることです。今後も、「誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる」ように、地域の方々と積極的に連携をとりながら、質の高いケアマネジメントの提供と、地域づくりへの貢献をめざしていきたいと思っています。

法人本部からお伝えしたいことがあります。

「ペガサス療養通所介護」をご存じですか？

「療養通所介護」とは、通常の通所介護施設（デイケア、デイサービス）の利用が難しい、医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ、中重度の方々のための日帰りのサービスです。例えば、頻回の吸引が必要で容易に外出できない。体に機械や管がついている。短時間しか座ることができない。がんの末期で自宅療養している。リハビリテーションをしたいが体力に自信がない。等

①訪問看護ステーション、主治医と常に連携を図り、適切なサービスを提供。
②常に急変を予測した個別送迎・看護師の付き添い。
③緊急時は馬場記念病院が速やかに対応。
④利用者の外出の機会となり、ご家族に休息をとっていただくことを目的としています。
⑤一日5人までの少人数制で家庭的な雰囲気。
⑥療養通所介護の効果として、長時間看護師が関わることで分かった情報を、訪問看護と共有することで、体調が改善したり、寝たきりだった方が長時間座れるようになりました。ご家族からは、安心して休息を取れるようになったと評価をいただいています。

＜ご利用の案内＞

営業日…月曜日～金曜日（祝日を除く）

営業時間…9：00～17：00

施設場所…ユニコ第2ビル

堺市西区鳳北町10-10

お問い合わせ先・TEL 072-2643662



←

S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
02

外科

患者さまにとって、最も負担の少ない、安全な手術を行っています。

患者さまにとって負担の少ない手術とは？

外科では、5名の外科医師が消化器科の医師4名と診療科の垣根を超え、協働しながら、一人ひとりの患者さまに合った「最も負担の少ない最も安全な手術」を行っています。

患者さまにとって負担の少ない最も安全な手術とは、術後の傷が小さく、痛みが少なく、回復が早く、社会復帰できるまでの期間が短いこと。そうした手術の一つに「腹腔鏡下（ふくくうきょうか）手術」が



高い技術が要求される「腹腔鏡下手術」です。以前は胆嚢（たんのう）摘出手術を中心に腹腔鏡下手術が行われていましたが、最近では大腸癌や胃癌の手術などにも応用されています。この腹腔鏡下手術の登場で患者さまの術後の負担がかなり軽減されています。

定期的な検診をお受けください

このように、腹腔鏡下手術には適応条件があり、それにはがんを早期に発見できるかどうかにかかっているといっても過言ではありません。早期発見には、やはり定期的に検

あります。

高い技術が要求される「腹腔鏡下手術」

すでに皆さまのなかにはご存じの方もいると思いますが、腹腔鏡下手術とは、お腹（腹腔）に数カ所の小さな穴を開けて、胃カメラと同じ仕組みの棒状カメラ（腹腔鏡）と、特殊な器具を挿入して行う手術のことです。これはカメラに写ったモニター画面を見ながら手術をするため、視野が限られており、臓器を手で直接触れることができない分、開腹手術と比べて、高い技術が要求される手術です。以前は胆嚢（たんのう）摘出手術を中心に腹腔鏡下手術が行われていましたが、最近では大腸癌や胃癌の手術などにも応用されています。この腹腔鏡下手術の登場で患者さまの術後の負担がかなり軽減されています。

傷口が小さく痛みが少ない手術

この手術による最大のメリットは、傷口が小さく済むということです。そのことで、術後の痛みが少なく、手術の翌日には歩くことも可能で、早い人ですと翌日には退院という方もいらっしゃるほどです。大腸癌は開腹による手術が今でも一般的な方法ですが、当院では大腸癌のうち、適応症例には積極的に腹腔鏡下手術を行っています。このように患者さまへの負担が少ない腹腔鏡下手術ですが、大腸癌の場合、腫瘍の進行度合などにより適応されない場合もあり、また、手術中の状況（腫瘍の広がりや思った以上に大きかった場合など）によっては、安全のために開腹手術へと移行することもあります。

外科の手術実績

平成18年度 年間総手術件数

301件

（全身麻酔 192件 腰椎麻酔94件 局所麻酔15件）

内 腹腔鏡下／腹腔鏡補助下手術

54件

腹腔鏡下手術による利点

- 術後の痛みが少ない
- 呼吸器系の合併症が少ない
- 傷口が小さい
- 術後の回復が早く、入院期間が短い
- 早期に食事を摂ることができる
- 癒着が起こりにくく、腸の回復が早い

査を受けることがとても大切です。「胃カメラや大腸カメラはちよつと恐い感じが…」と敬遠される気持ちも分かりますが、最近では検査機器の進歩により不快感も少なく、鎮静剤の使用による苦痛を抑えた検査も行っています。検査は決して恐いものではなく、定期的に検診を受けることで、たとえ病気が見つかったとしても「腹腔鏡下手術」などによる負担の少ない手術が可能になります。検査は早期の発見、早期の治療に繋がる大切なものなのです。

安全で質の高い医療をめざして

外科では、大腸癌だけではなく、将来的には胃癌に対しても腹腔鏡下による手術に取り組みたいと考えています。今後も、安全で質の高い医療を提供できるように、消化器科との連携を密にし、私たちの持っている力のすべてを注いで診療にあたっていきたいと思っています。元気になって退院される患者さまの姿が、私たちの一番の喜びです。

馬場記念病院

外科部長

新田敦範